

5.8GHz帯DSRC情報接続サービス 路車間インタフェース仕様書

Rev 1.0 追補版

2012年5月

財団法人 道路新産業開発機構

頁	行または項目	現状	追補内容（下線部）
6	(5) 初期接続 URL 通知機能	<p>・路側設備は、車載器との間で DSRC-SPF による機器認証が成功したら、車載器に初期接続 URL を通知する。</p>	<p>・路側設備は、車載器との間で DSRC-SPF による機器認証が成功、かつ、クライアント情報を <u>受信</u> したら、車載器に初期接続 URL を通知する。</p>
付 1-1	備考	<p>路側設備がポートをオープンした時点で、車載器からクライアント情報が送信される。</p>	<p>路側設備がポートをオープンした時点で、車載器からクライアント情報が送信される。 <u>車載器は、クライアント情報を送信するに際し、共通セキュリティ相互認証の完了を待つ必要は無い。</u></p>

(4) PPP 接続機能

PPP により、路側設備と車載器との PPP 接続を終端する。

① PPP リンク接続機能

RFC1661(1994年7月版)で規定される PPP(LCP 層と IPCP 層により構成)を用い、路側設備と車載器をポイント・ツー・ポイントで接続する。本機能では認証・圧縮は行わないものとし、非同期制御コードマップ(ACCM)の値は、データ通信効率を考慮し、ARIB STD-T88 付属資料 K4 で推奨されている「0」とする。

② IP アドレス配布機能

路側設備は、PPP の IPCP 層の交渉オプションにより、車載器に IP アドレスを配布する。

③ DNS アドレス配布機能

路側設備は、PPP の IPCP 層の交渉オプション(RFC1877:1995年12月版)により、車載器に DNS アドレス(プライマリアドレス・セカンダリアドレス)を配布する。

(5) 初期接続 URL 通知機能

初期接続 URL 通知機能は、ITS FORUM RC-004 の擬似プッシュ機能を用いて路側設備から車載器へ初期接続 URL を通知する機能である。

- ・個別通信で行うものとする。
- ・通常ポートにて確認応答なしプッシュ通信で行うものとする。
- ・ApplicationType は browser とする。
- ・路側設備は、車載器との間で DSRC-SPF による機器認証が成功、かつ、クライアント情報を受信したら、車載器に初期接続 URL を通知する。
- ・初期接続 URL 通知と IP 系の処理はそれぞれ独立した処理であり、初期接続 URL 通知は IP 系の処理の状態 (PPP 接続前か後か等) には依存せずに実行するものとする。
- ・初期接続 URL を示す HTTP から始まる文字列 (即ち、擬似プッシュコンテンツ) のデータ長の最大値は 256 バイトとする。
- ・車載器は、通知された初期接続 URL を用いずに、車載器で保持する URL を用いて接続することも可能であり、その場合は通知された初期接続 URL と車載器が保持する URL のいずれを用いるかを操作者が選択できることが望ましい。なお、全ての路側設備において通知する初期接続 URL 以外の URL への接続が保障されているものではない。

(6) 車両停止確認機能

車載器は、車両停止確認機能を備え、「車載情報機器に関する安全性ガイドライン(自動車工業会)」に準拠した操作制限を行う。

なお、操作を必要とせずにアクセスする場合においてはこの限りではない。

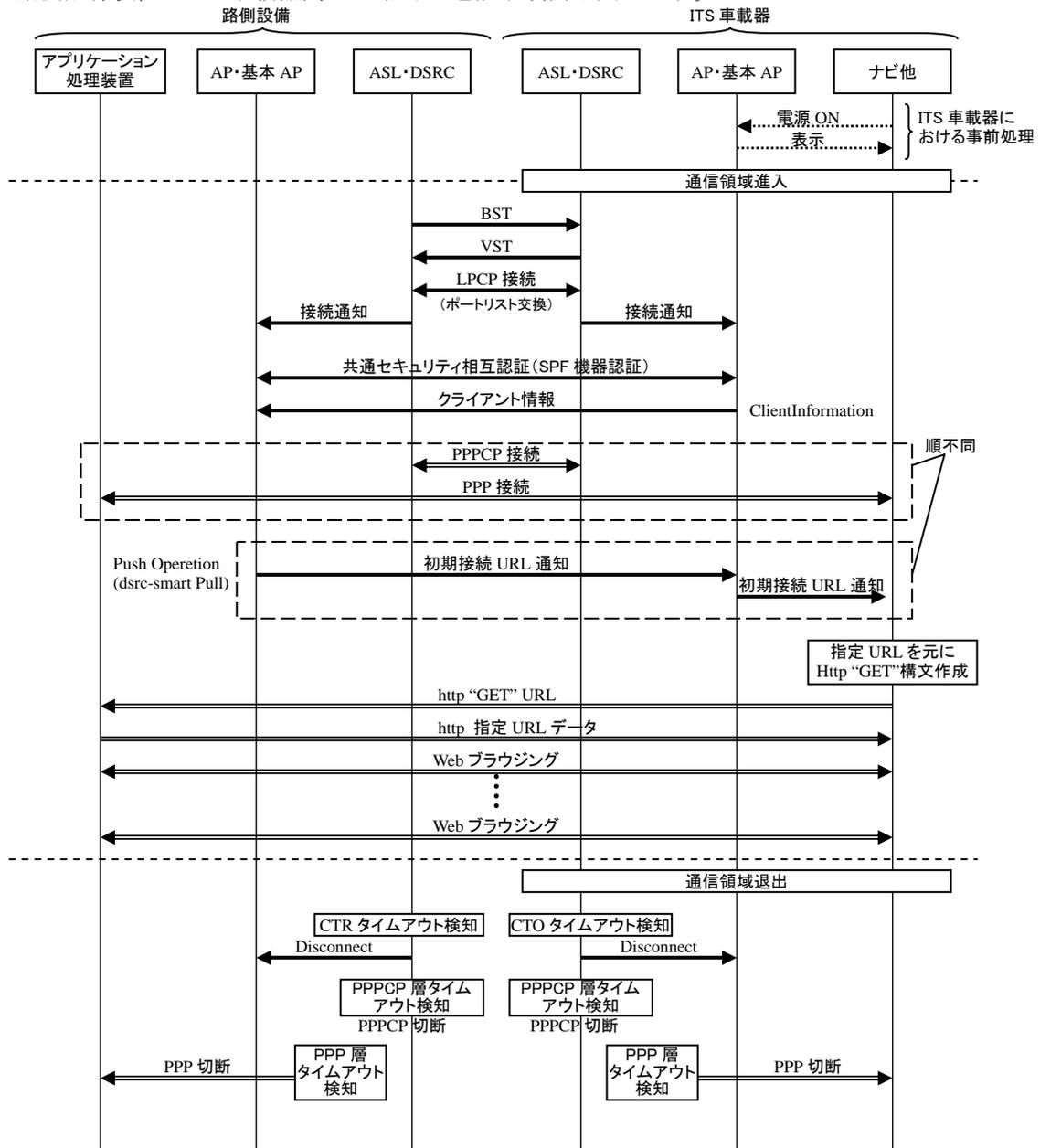
この車両停止確認機能は車載器で備えるものであり、路側設備は関与しない。

付属資料 1 通信標準手順

路側設備と ITS 車載器間の標準的な通信手順を示す。ここで示す手順は一例であり、詳細な手順、ならびに、メッセージとそれに設定されるパラメータは、ARIB STD-T75 による。

1. 正常シーケンス

路側無線装置とITS車載器間の正常時の通信手順例を図に示す。



備考 路側設備がポートをオープンした時点で、車載器からクライアント情報が送信される。

車載器は、クライアント情報を送信するに際し、共通セキュリティ相互認証の完了を待つ必要は無い。

図 1.1 通信接続手順